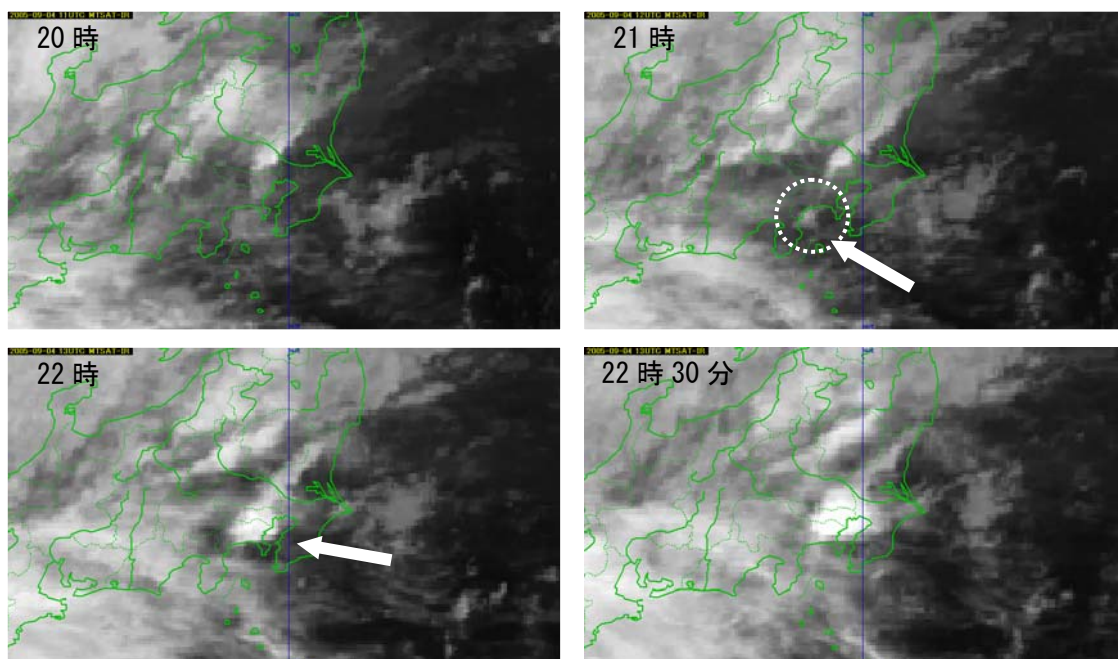
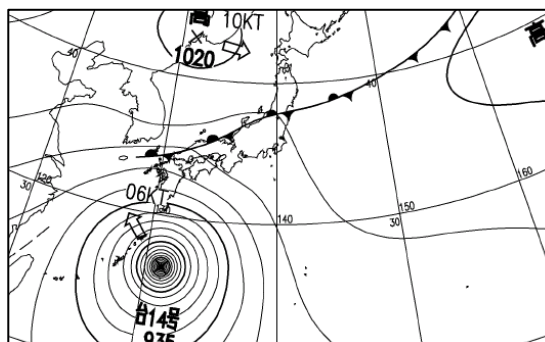


気象衛星画像 (2005年9月)



2005年9月4日20時～22時30分の赤外画像(上)
と9月4日21時の地上天気図(右)



東京都23区で発生した集中豪雨

大型で非常に強い勢力の台風第14号が9月4日から5日にかけて九州の南海上を北上し、この台風からもたらされた暖かく湿った空気が太平洋高気圧の縁辺を回って本州付近に停滞した前線に向かって入り込み、9月4日東京都23区、埼玉県南部などで局地的に豪雨となった。

9月4日20時から22時30分までの赤外画像から、関東地方では南西から北東に伸びるライン状の雲域が発達していく様子が見られる。21時の画像で相模湾付近に見られる積乱雲(矢印)が22時には北東側に伸びるライン状の雲域と併合し、22時30分の画像で急激に発達したことがわかる。ライン状の雲域にあたる東京都練馬区のアメダス観測所では22時30分までの1時間で60ミリの雨量を観測した。

(気象衛星センター)